

ハミ出さなきや、何を始まらない!

「シングル
人間アワーコック」

すとれーじ
[Storage]

【虹の会】勉強会
2016

今回、笑いの要素は
一切ありません！

第一部 8月26日(金)
虹の会本部ほんびい、午後6時開始
参加費無料 (勉強会後の飲食参加は1000円)
第二部 9月16日(金) 第三部 10月28日(金)

このイベントはなんに？



実践の記憶を紐解きながら、
未来への想像を膨らませる。

虹の会は1982年に発足して以来、数々の実践を積み重ねてきました。現在の、良いこと（成果）も悪いこと（課題）もすべて、これら実践によるものです。過去の実践には、未来へ進むためのヒントが必ずあるはずです。記憶を紐解きながら、「いま」と「これから」を考えましょう。虹の会に関わって日々の浅い人や、普段関わりの少ない市民の皆さんにも、ぜひ参加して欲しい勉強会です。

人間ROCKとは？



ただ地域で暮らすのではなく、
人として楽しく充実させたい。

人間ROCKは「障害があってもなくても、この地域で人間らしく暮らしていく」をテーマに、2013年から全11回にわたり開催されたイベントで、主に虹の会の記録映像を元にした動画作品を市民の皆さんに向けて上映してきました。今年6月には「人間ROCKリバース」として一夜限りの復活を遂げました。

そして「人間ROCKストレージ」として全3部構成による本格的な勉強会として再始動することとなりました。さらに今回は！笑いの要素なし？！動画も封印？！混迷を極める新たな試みは、果たしてどうなることやら……。

虹の会が実践してきたこと？



「あたりまえではない」ことを「あたりまえにする」制度の枠を超えた実践が「いま」に結びついている

重度の障害者が地域で暮らすことなど到底考えられなかつた時代、毎日24時間の介助が必要だった故・福嶋あき江さんが、地域で暮らすことを望み、入所施設を退所した。当時は行政による介助は一切得られず、ボランティアに頼りながらの介助がいつ途切れるかわからない生活は困難を極めた。しかし、それでも施設には戻りたくない、毎日のよう人にとして扱われない差別（決められた時間に決められたことしか出来ない、したい時にトイレに行けない、好きでもない異性に入浴介助されるなど）を受けながらの暮らしは二度としたくない、という強い想いによって、実践は続き、そして引き継がれていった。

数年後、ボランティアからの脱却を掲げ、バザーを行い、その収益で介助者を雇用する実践を始め、次第に地域の理解へ繋がり、協力者が増え、行政を動かす結果となる。そして加速した行政派遣によって、ヘルパーが障害者の生活に指図するという課題を生み、障害者自身の意思による生活を求めた実践（）は、推薦登録方式へと繋がる。（続きは勉強会で）

【ニシゲン】
人間ROCK [storage]

勉強会終了
後は毎度お騒
がせの飲み会
でビーブラ
さんにお食事をお
願いする予定
の飲食フリー
で1000円

第一部 8月26日(金)
虹の会本部ほんびい午後6時開始